

令和5年度 学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員）

このアンケートは、学校の教育目標「人や自然と和し、自分を磨き、夢を結ぶ生徒の育成」の達成状況について、令和5年7月と12月に行いました。

各設問に対して、4＝そう思う、3＝ややそう思う、2＝あまりそう思わない、1＝そう思わない、として回答しています。判定基準は、評価の平均の数値が、3.5以上は 、3.0以上は 、3.0未満は です。結果は令和4年度との比較になります。

分類	番号	評価項目	生徒		保護者		教職員	
			R4	R5	R4	R5	R4	R5
組織運営	1	学校の教育目標の具現化に向けて組織的に取り組んでいる。					3.4	3.2
	2	学校に行くことを楽しみにしている。	3.4	3.4	3.2	3.4		
	3	生徒は目標を持って学校生活を送っている。	3.1	3.2	3.0	3.2		
	4	危機管理意識を持って安全・安心な学校づくりに努めている。					3.5	3.3
	5	報告・連絡・相談に心掛け、連携・協力ができている。					3.4	3.1
確かな学力	6	ねらいを明確にし、基礎・基本を大切にした分かる授業に努めている。	3.4	3.7	3.3	3.4	3.2	3.4
	7	生徒が意欲的に取り組む授業づくりをしている。	3.3	3.2	2.9	3.1	3.3	3.3
	8	生徒を公平に評価している。	3.0	3.4	3.3	3.4		
	9	目標と指導と評価の一体化を目指した授業改善に取り組んでいる。					3.1	3.3
	10	生徒は家庭学習に毎日取り組んでいる。	3.0	3.2	2.6	2.8	3.0	3.1
生徒指導	11	気持ちの良い挨拶ができている。	3.5	3.4	3.2	3.3	3.1	3.1
	12	教職員は、生徒のことをよく理解していると思っている。	3.1	3.2	3.3	3.5		
	13	生徒や保護者の悩みや願いに適切に対応できている。	3.3	3.5	3.3	3.4	3.2	3.3
	14	いじめ等のない学校づくり・学級づくりに取り組んでいる。	3.2	3.4	3.3	3.5	3.4	3.5
	15	生徒指導に対する教職員の意識統一が図られている。					3.0	3.2
	16	生徒は朝ごはんを毎日食べている。	3.6	3.7	3.7	3.8		
特別活動等	17	校内の環境美化にしっかりと取り組んでいる。	3.6	3.6	3.6	3.7	3.5	3.4
	18	部活動は、生徒にとって充実している。	3.6	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5
	19	生徒会活動や委員会活動は、充実している。	3.5	3.6	3.4	3.5	2.9	2.9
	20	運動会や文化祭などの学校行事は、生徒にとって充実している。	3.7	3.9	3.4	3.7	3.5	3.7
	21	主体的に進路を選択する能力や態度の育成に努めている。	3.1	2.9	2.8	2.9	3.2	3.2
	22	人の生き方について考えさせ、豊かな心を育てようとしている。					3.4	3.4
連携	23	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	3.2	3.2	3.2	3.5	3.5	3.7
	24	小中学校の連携は、効果的に行われている。					3.1	3.2

1 学校評価アンケートについて

「組織運営」について、生徒・保護者・教職員共に肯定的な評価が多かった。更に教職員で分析を行い、共通理解の下、生徒達への個に応じた声掛けや支援を実施したい。

「確かな学力」について、今年度は今治市が導入しているスタディサプリを活用し、「確かな学力」の定着に努めた。3年生を対象とした全国学力・学習状況調査では、全科目、良好な成績を

収めることができたが、「家庭学習の定着」は引き続き本校の課題となっている。今後もスタディサプリを家庭学習で活用したり、課題を配信したりして充実を図っていきたい。

「生徒指導」では、今年度はサポートルームが開設されたこともあり、今まで以上に不登校傾向等の生徒や保護者へきめ細かな対応ができた。学級担任・教科担任と連携を図りながらリモートで授業に参加したり、行事に参加したりすることができるようになった生徒もいる。生徒の気持ちに寄り添った人間関係づくりが急務であり、今後、外部から講師を招きソーシャルスキルトレーニングの研修を行い、生徒との対話を充実させ、人間関係の再構築に取り組む予定である。

「特別活動等」では、昨年5月より、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校行事や部活動がコロナ禍前の水準に戻ってきている。地域・保護者の協力で、職場体験学習や伝統芸能継承活動、少年式後の餅つきなどは、昨年度以上に充実したものになり、肯定的な評価が高くなっていると思われる。今後も更に今治市モデルのふるさとキャリア教育や職場体験学習、福祉体験学習などを充実させ、自分の進路について主体的に考え、実現に向けて行動することのできる生徒の育成に努めたい。

2 主な取組の課題と改善

「総合的な学習の時間」(3年生)で行っている伝統芸能継承活動では、指導者の確保が難しいという課題があるが、獅子舞は地域の保存会の方に8回来校いただき、生徒たちは獅子頭の扱い方や油単のさばき方を丁寧にご指導いただいた。龍岡万歳は上級生から引き継いだ動画を基に練習を重ね、仕上げとして地域の方には衣装の着付けを確認していただいた。獅子舞と龍岡万歳を文化祭やスリランカの姉妹校とのオンライン交流で披露したり、地域行事でのビデオ上映を行ったりすることで、伝統文化継承の一翼を担い、地域の風土や文化を大切にしようという気持ちを高めることができた。

他校種との連携の機会を得ることは難しいが、2年生が人権・同和学習の一環で作成した童謡「赤とんぼ」の動画をきっかけに職場体験学習や保育所訪問で近隣の園児と交流を深めることができた。